

第 34 回富士山カップ少年・少女サッカー大会# 競技上の注意#

#

A プレーに関する事項

- 1 2018/2019 年度日本サッカー協会 8 人制サッカー競技規則に則って競技を行う。
- 2 落雷や豪雨等の影響で試合が中断、その後再開のめどがたたず、打ち切られた時その試合の取り扱いは大会本部役員にて決定する。

B 一般的注意事項及び申し合わせ事項

- 1 試合時のユニフォームについて。
 - ・試合会場には第一、第二ユニフォームを携行すること。
 - ・ユニフォームが同系色の場合、試合開始前に各会場本部にて両チームで話し合いを行い、決まらない場合は主審のコイントスで決定する。
 - ・フィールドプレーヤーがゴールキーパーになる場合はビブス着用でもよい。
- 2 競技者の数
 - ・試合の最少人数は 6 人で(そのうち一人はキーパー)試合中 6 人未満になった場合は試合を打ち切りとし、その後の処置は大会本部にて決定する。
- 3 試合中のコーチについて
 - ・ベンチには 4 名までのチーム役員と登録選手 20 名まで入る事ができる。
 - ・テクニカルエリアでの戦術的指示はその都度 1 名に限ってできる。
 - ・試合前半にベンチに居なかったチーム役員は後半ベンチに入る事はできない。
- 4 メンバー表について
 - ・メンバー表は自チームの試合の 45 分前までに各会場本部に 2 部提出する。
- 5 懲戒罰の取り扱いについて
 - ・警告、退場の報告は大会本部審判委員会によって管理され、大会をとおして 2 回の警告を受けた競技者、退場処分を受けた競技者は原則次の試合の出場を認めない。
- 6 試合中の飲水について
 - ・大会をとおして前後半 1 回ずつの飲水タイムを取ります。
 - ・飲水時間中、戦術的指示はできない。濡れたタオル、氷を与える事はできない。
 - ・スポーツ飲料等の飲水は各会場できる。(時之栖グラウンドもスポーツ飲料可)
- 7 その他
 - ・試合開始時間に間に合わなかったチームは失格とする。
 - ・ベンチは組み合わせ番号の小さいチームが競技場に向かって左側に入る。
 - ・ベンチに入るチーム役員、競技者、競技場にいる観客者は審判員に対する異議、暴言は認めない。
 - ・ベンチにミストファンを設置する。合わせて噴霧器の持ち込み使用も可。